

令和元年度（平成31年度） 事業報告

理事会・監査・評議員会等の実施状況

1. 変更登記等

令和元年6月28日 変更登記	1. 理事変更 退任理事 楠瀬静夫（令和元年6月24日退任） 就任理事 高橋道雄（令和元年6月25日就任） 2. 資産の総額の変更 資産総額 37,096,007円（令和元年3月31日変更） 3. 印鑑提出者の変更
-------------------	---

2. 理事会の開催

年月日	開催場所	主要議題
令和元年 6月7日	須崎市 総合保健福祉 センター2F 第3会議室	第1回理事会 （現任理事9名中 8名出席、監事2名中 2名出席） 第1号議案 平成30年度一般会計補正予算(第3号)について 第2号議案 平成30年度事業報告及び一般会計収支決算について 同 監査報告について 第3号議案 任期満了に伴う理事、監事の候補者について 第4号議案 評議員の候補者について 第5号議案 評議員会の開催について その他について
令和元年 6月24日	須崎市立 市民文化会館 大会議室A	第2回理事会 （現任理事10名中 10名出席、監事2名中 2名出席） 第6号議案 理事たる会長、副会長、常務理事の選任について その他について
令和元年 9月27日	須崎市 総合保健福祉 センター3F 研修室	第3回理事会 （現任理事10名中 10名出席、監事2名中 2名出席） 報告事項 ①訪問介護事業所(4月～8月)決算状況について ②職員体制等について ③第36回須崎市社会福祉大会について ④事務所の移転について ⑤会長、常務理事の職務執行状況について その他
令和元年 12月13日	須崎市 総合保健福祉 センター3F 研修室	第4回理事会 (現任理事10名中 10名出席、監事2名中 2名出席) 報告事項 ①職員賃金規程について ②あったかふれあいセンター「しんまち」トイレ等改修工事について 第7号議案 職員就業規程の一部改正について 第8号議案 令和元年度一般会計補正予算(第1号)について 第9号議案 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 第10号議案 令和元年度第2回評議員会の開催について その他について
令和2年 3月9日	須崎市 総合保健福祉 センター3F 研修室	第5回理事会 (現任理事10名中 9名出席、監事2名中 2名出席) 第11号議案 定款の一部改正について 第12号議案 令和2年度事業計画及び一般会計収支予算について 第13号議案 第三者委員の承認について 第14号議案 評議員選任委員の選任について 第15号議案 理事候補者の承認について 第16号議案 第3回評議員会の開催について その他について
令和2年 3月27日	須崎市 総合保健福祉 センター3F 研修室	第6回理事会 (現任理事10名中 10名出席、監事2名中 2名出席) 第17号議案 辞任に伴う常務理事の選任について その他について

3. 監査の実施

年月日	開催場所	監査内容
令和元年 5月30日	須崎市社協事務所前 相談室	平成30年度事業報告及び各会計決算について監査 監事 西村貴尚、久保文彦

4. 評議員会の開催

年月日	開催場所	主要議題
令和元年 6月24日	須崎市立 市民文化会館 大会議室A	第1回定時評議員会 （現任評議員 14名中 12名出席） 第1号議案 平成30年度一般会計補正予算(第3号)について 第2号議案 令和30年度事業報告及び一般会計収支決算について 第3号議案 任期満了に伴う理事、監事の選任について その他について
令和元年 12月23日	須崎市 総合保健福祉 センター3F 研修室	第2回評議員会 （現任評議員 15名中 13名出席） 第4号議案 令和元年度一般会計補正予算(第1号)について 第5号議案 役員等報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について その他について
令和2年 3月27日	須崎市 総合保健福祉 センター3F 研修室	第3回評議員会 （現任評議員 15名中 12名出席） 第6号議案 定款の一部改正について 第7号議案 令和2年度事業計画及び一般会計収支予算について 第8号議案 理事の選任について その他について

5. 正副会長会の開催

年月日	開催場所	主要議題
令和元年 5月27日	社協事務所前 相談室	・職員の処分について ・新役員体制について ・その他
令和元年 6月28日	社協事務所前 相談室	・今後の予定 ①民児協役員会 ②都市社協会長連絡協議会 ③ブロック別市町村社協会長等意見交換会 ④第3回理事会 ・その他
令和元年 7月19日	社協事務所前 相談室	・第36回須崎市社会福祉大会について ・善意銀行について ・その他
令和元年 9月17日	社協事務所前 相談室	・訪問介護事業所(4月～8月決算見込について) ・第36回須崎市社会福祉大会について ・職員体制について ・事務所移転について ・第3回理事会について ・その他
令和元年 12月2日	社協事務所前 相談室	・市への要望について ・第36回須崎市社会福祉大会について ・第4回理事会について ・その他
令和2年 1月27日	社協事務所前 相談室	・社会福祉大会アンケート結果 ・職員採用試験について ・社会福祉法人に係る指導監査について ・第5回理事会について ・その他
令和2年 2月28日	社協事務所前 相談室	・第5回理事会について ・その他

6. 指導監査の実施

令和2年 3月3日	須崎市 総合保健福 祉センター1F 会議室3	社会福祉法人に係る指導監査：須崎市福祉事務所（4名） 結果：概ね良好 ・当協議会ホームページでの定款、役員等の報酬基準の公表
--------------	---------------------------------	--

主要事業の実施状況

活動方針1 住民のあらゆる生活課題へ対応できる総合的相談・支援体制の強化

日常生活での悩みごとや心配ごとに対して、適切な解決方法の助言や専門機関への紹介などの相談窓口として誰もが気軽に安心して相談ができ、信頼される相談援助活動に努めた。

1. 生活支援・総合相談センター「ほっと」の開設

総合相談所の実施

住民の多様な生活課題や困りごとに対応できるワンストップ型の総合相談窓口として、各種相談専門員はもとより社協職員全員が相談員として対応。専門機関、福祉・行政サービスへの伴走型支援など、相談者の生活課題を支援につなげていく体制づくりに努めた。

相談・支援内容と件数(延べ数)

相談・支援内容	30年度	元年度	相談・支援内容	30年度	元年度
電話相談・連絡	354	254	その他の期間との会議	16	12
訪問・同行支援	107	102	他機関との電話照会・協議	339	258
面談	142	128	その他	27	22
所内会議	14	5	不明	0	0
支援調整会議(プラン策定)	16	8	計	1,083	803
支援調整会議(評価実施)	8	14			

相談月別件数(延べ)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
30年度	92	99	85	77	84	53	30年度 1,083
元年度	74	52	59	58	83	69	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	元年度 803
30年度	104	118	88	81	103	99	
元年度	80	71	95	69	58	35	

①生活困窮者自立支援事業(市受託事業)

○令和元年度利用者実数：68件

②就労準備支援事業(市受託事業)

○令和元年度利用者実数：1件

③家計相談支援事業(市委託事業)

○令和元年度利用者実数：6件

2. 定期的な専門相談の実施

無料弁護士相談(共募配分)

毎月第3木曜日 13:00~16:10 法テラス須崎法律事務所・ひまわり法律事務所

	受付件数	相談件数
30年度	43件	31件
元年度	55件	35件

3. 支援活動の充実

①生活福祉資金貸付事業

低所得者・高齢者・障害者世帯に対し、資金の啓発と適切な援助指導を行い、その経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加促進を図った。又、長期滞納者に対し督促するとともに計画的な償還指導を推進した。

又、失業により生計が困難となった世帯に対し、再就職までの間の生活資金として貸し付けることで、失業世帯の生活立て直しを支援する(総合支援資金)の啓発と、適切な利用援助相談等を推進した。

ア、貸付相談等件数

	30年度			元年度		
	来所	電話	計	来所	電話	計
生活福祉資金(総合支援資金)	1	0	1	4	2	6
生活福祉資金(福祉資金・緊急小口資金)	54	77	131	49	85	134
生活福祉資金(教育支援資金)	19	52	71	2	16	18
生活福祉資金(不動産担保型生活資金)	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0
その他制度全般相談	23	39	62	20	28	48
計	97	168	265	75	131	206

イ、総貸付件数(令和2年3月31日現在)

	30年度		元年度	
	件数	金額	件数	金額
生活福祉資金	54件	36,086,033円	43件	31,846,053円
総合支援資金	3件	2,320,956円	3件	2,363,311円

ウ、本年度貸付件数

	30年度		元年度	
	件数	金額	件数	金額
緊急小口資金	3件	250,000円	1件	200,000円
福祉資金	2件	173,000円	0件	0円
計	5件	423,000円	1件	200,000円

※緊急小口については、新型コロナウイルス関係

エ、事務費等(県社協委託)

	30年度	元年度
事務費	297,000円	304,000円
民生委員実費弁償費	134,000円	132,000円

②高額療養費貸付事業(市受託事業)

国保被保険者で、高額療養費支給の対象となる一部負担金の支払いが一時的に困難なものに、その費用の全部または一部を貸付けることにより、被保険者の福祉の推進と生活の安定に資することを目的とし実施した。

	30年度	元年度
貸付件数	20件	31件
貸付金額	3,801,766円	3,247,359円

③日常生活自立支援事業の推進(高知県社協受託事業)

地域の中で生活する判断能力が不十分な方の福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を通じて相談援助活動に努めた。

	年度	認知症高齢	知的障害	精神障害	その他	計	
契約締結	30年度	3件	3件	1件	0件	7件	
	元年度	3件	0件	6件	0件	9件	
相談援助	30年度	202件	383件	357件	15件	957件	
	元年度	314件	446件	476件	14件	1,250件	
	実利用者数 (人)	支援時間数		貸金庫預かり件数		利用料計 (円)	
		時間数(H)	利用料等(円)	件数	利用料(円)		
一般世帯	30年度	25	359.5	539,250	5件	30,000	569,250
	元年度	29	437.5	656,250	5件	30,000	686,250
生活保護	30年度	12	388.5	582,750	4件		
	元年度	17	452.5	678,750	4件		

④須崎市指定相談支援事業(受託事業)

相談支援専門員を配置し、精神・身体・知的の障害児(者)の日常生活上の支援並びに相談や交流活動等のサービスを提供することにより、社会復帰及び社会参加の促進に努め、須崎市における障害児・者相談支援の総合的展開を図った。

◆相談件数等(延べ)

相談内容	件数(件)		相談内容	件数(件)	
	30年度	元年度		30年度	元年度
福祉サービスの利用に関すること	1,377	1,565	生活技術に関すること	330	248
障害や症状の理解に関すること	327	471	就労に関すること	119	139
健康・医療に関すること	717	996	社会参加・余暇に関すること	261	324
不安の解消・情緒安定に関すること	256	363	権利擁護に関すること	8	7
保育・教育に関すること	95	105	その他	922	939
家族関係・人間関係に関すること	396	376	合 計	5,198	5,982
家計・経済に関すること	390	449			

◆月別利用者総数(実数)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	実利用者数	
件数(人)	30年度	218	221	227	229	232	233	30年度	242人
	元年度	243	247	250	253	255	256		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	元年度	285人
件数(人)	30年度	234	236	239	239	239	242		
	元年度	260	263	263	265	267	285		

◆モニタリング・計画作成等件数

障害者(児)	モニタリング		計画作成		合計		
	件数(件)	給付額(円)	件数(件)	給付額(円)	件数(件)	給付額(円)	
障害者	30年度	183	2,753,570	84	1,557,510	267	4,303,280
	元年度	183	2,805,570	106	1,976,480	289	4,782,050
障害児	30年度	62	943,920	32	635,160	94	1,579,080
	元年度	57	952,700	36	751,880	93	1,704,580

4. 広報啓発活動の充実

① 広報活動

広報誌「社協だより」の発行 年4回発行(4月・7月・10月・1月)。社協活動の啓発推進に努めた。

② 須崎市社会福祉大会開催事業

事業名	第36回須崎市社会福祉大会(参加者数 : 140名)
開催日	令和2年1月11日(土) 11:00~16:30
場 所	須崎市市立市民文化会館 大会議室
○社会福祉功労者等の表彰	
大会長特別表彰	1団体(ボランティア活動)
大会長表彰	10名(民生委員・児童委員)
大会長感謝	3名(施設職員 2名、多額寄付 1名)
○活動発表	
①とかのあったかふれあいセンターの取り組み	NPO法人とかの元気村 副理事長 森田有紀さん
②津野町貝ノ川サロン棚田の集いの取り組み	津野町貝ノ川サロン棚田の集い 代表 大崎建夫さん
③浦ノ内地区地域自主組織の取り組み	浦ノ内地区地域自主組織 事務局 清水千郷さん
○講 演	
みんなの「出来る」を出し合って! 進めよう須崎流のまちづくり	講師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保さん

活動方針2

利用者の立場に立った福祉サービスの提供と積極的展開

1. 在宅福祉サービスの推進

①. 地域介護予防活動支援事業(市受託事業)

要介護状態となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められる65歳以上の者を対象とし、要介護状態等となることを予防することを通じて、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援し、活動的で生きがいのある人生を送ることができるよう支援する。

期 間	(4月~8月)
活動場所	総合保健福祉センター
月間活動時間	9.5時間
教室対象人員(実人員)	37人
教室対象人員(延人員)	222人

② 障害者地域支え合い事業(市受託事業)

在宅の心身障害児(者)が家庭において介護を受けることが出来ず、一時的に介護を必要とする場合に登録介護者に介護委託することにより利用者やその保護者の地域生活を支援することを目的とする。

	30年度	元年度
登録者数	2人	2人
登録介護者数	2人	2人
総訪問回数	27回	30回
総訪問時間数	77時間	88時間
支給額	46,200円	52,800円

③障害者社会参加促進事業(市受託事業)

ア、事業名：生活訓練事業「パソコン教室」

目的：在宅障害者の日常生活の向上と自立、社会参加を図ることを目的とする。

第1回		第2回	
開催日	令和元年9月2日～10月9日 の間15日間	開催日	令和2年1月23日～2月27日 の間15日間
場所	高知ペットビジネス専門学校	場所	高知ペットビジネス専門学校
参加者	17名(前年度 13名)	参加者	15名(前年度 16名)

イ、事業名：障害者社会参加促進事業「スポーツ・レクリエーション開催事業」

目的：障害者スポーツの普及とスポーツを通じた交流を深め、障害者自身の健康増進を図ることを目的とする。

第1回		第2回	
開催日	令和元年10月31日(木)	開催日	令和2年3月17日(火)
場所	香南市マリンスポーツセンター	場所	わんぱーくこうち・ラウンドワン
参加者	5名	参加者	新型コロナウイルス感染予防のため中止

④ふれあい給食サービス事業(市補助事業)

実施地区	30年度			元年度		
	回数(回)	人員(人)	助成額(円)	回数(回)	人員(人)	助成額(円)
多ノ郷	11	847	254,000	11	792	237,600
上分	12	297	89,100	12	414	124,200
吾桑	12	354	106,200	12	395	118,500
浦ノ内	12	924	277,200	11	799	239,700
須崎(東)	12	1,302	390,600	11	1,101	330,300
須崎(中)	12	875	262,500	11	766	229,800
須崎(西)	12	1,216	364,800	11	1,153	345,900
新庄	12	258	77,400	12	237	71,100
安和	12	48	14,400	11	44	13,200
南	11	670	201,000	10	550	165,000
計	118	6,791	2,037,300	112	6,251	1,875,300

⑤小地域高齢者ふれあいの集いの支援(市補助事業)

各公民館、集会場を基盤とする小地域において閉じこもりがちな高齢者の孤独解消、仲間づくり、健康増進のために開催されているふれあいの集いを支援し、小地域福祉活動の推進に努めた。

地域の集い		実施回数(回)	利用延人員(人)
30年度	71か所	391	2,009
元年度	67カ所	216	912

⑥福祉用具・マイクロバス貸出事業(自主事業)

介護保険、支援費制度の対象外の高齢者や障害者に対し車椅子等の福祉用具を貸出し、日常生活活動の軽減、社会参加活動拡大のために実施した。また、市内各種福祉団体等の活動目的推進のためにマイクロバスの貸出を実施した。

ア、車椅子貸与

	貸出件数(件)
30年度	50
元年度	62

イ、マイクロバス

	貸出件数(件)	利用述べ人数(人)
30年度	52	1,158
元年度	42	871

⑦健康体操教室事業(共募配分)

地域高齢者の健康維持、仲間づくりのために命の貯蓄体操を開催。体操指導者に対する支援を行った。

	30年度	元年度
助成額	146,000円	138,000円

⑧身体障害者社会参加事業(市補助事業)

障害のある方々が、積極的に各種イベントや大会へ参加できるための移動バス、ボランティア等を支援することにより障害者の社会参加促進に努めた。

⑨あったかふれあいセンター「まちなかサロン」事業(受託事業)

複雑多様化する地域住民の福祉課題に対応していくために市街地に地域福祉の拠点として「まちなかサロン」を設置し、地域住民だれもが気軽に集える機能に加え、高齢者の介護予防、訪問・相談・つなぎによる住民参加の見守りネットワーク構築と生活支援の仕組みづくりに努めた。

ア、まちなかサロン「8店会」

開所日:月～金 10時～15時

(百歳体操・かみかみ体操・保健師による健康相談・須崎警察署による防犯、防災、交通講座、作業療法士による講座・お茶会・演奏会・書道・アロマ教室・買い物支援・避難訓練・将棋交流・訪問活動など)

		高齢者	障害者	子ども	一般	合計
30年度	延人数	2,949人	434人	49人	88人	3,520人
	実人数	70人	7人	31人	12人	120人
元年度	延人数	2,420人	666人	35人	54人	3,175人
	実人数	90人	6人	13人	17人	126人

イ、まちなかサロン サテライト「しんまち」

開所日:火・木・金 10時～15時

(百歳体操・かみかみ体操・市職員による防犯教室・作業療法士による講座・避難訓練 将棋交流・華道教室・訪問など)

		高齢者	障害者	子ども	一般	合計
30年度	延人数	2,161人	8人	1人	98人	2,268人
	実人員	97人	3人	1人	27人	128人
元年度	延人数	1,824人	17人	3人	74人	1,918人
	実人員	74人	5人	3人	35人	117人

◆ささえ愛(認知症カフェ)

認知症家族が気軽に利用でき、日ごろの悩みなどの相談を聞くことで悩みの解消や生活に生きがいを持てるように認知症の方の能力を生かし、役割をもっといただける場づくりとして開所。

開所日：毎月第2土曜日 13:00～15:00

		高齢者	障害者	一般	その他	合計
30年度	人員	121人	7人	14人	0人	142人
元年度	人員	89人	6人	14人	3人	112人

ウ、まちなかサロン サテライト「山手町」

開所日：水曜日 12時～15時

(百歳体操・作業療法士による講座・かみかみ体操・アロマ教室・訪問など)

		高齢者	障害者	子ども	一般	合計
30年度	延人数	679人	6人	0人	13人	698人
	実人員	33人	1人	0人	6人	40人
元年度	延人数	663人	5人	3人	12人	683人
	実人員	42人	2人	3人	10人	57人

2. 指定訪問介護事業所及び指定介護予防事業所の適正運営

① 指定訪問介護事業の運営体制の確立

ア、高齢者訪問介護事業(介護保険事業)

介護保険法に基づく「指定訪問介護事業所」として須崎市保健、医療、福祉サービス事業者との連携を図り、適正な運営体制の確立と要介護者、要支援者に対し常に利用者の立場に立ったサービス事業の提供に努めた。

年度	件数(件)	実績(円)	介護報酬(円)	自己負担(円)
30年度	961	23,506,710	21,591,722	1,914,988
元年度	1,036	25,509,875	23,232,499	2,277,376
比較増減	75	2,003,165	1,640,777	362,388

イ、障害者訪問介護事業(障害者自立支援事業)

身体・知的・精神障害者(児)が日常生活を営むことができるよう、「障害者福祉法」に基づく居宅介護サービスを適正に提供するとともに、須崎市保健、医療、福祉サービス事業者との連携を図り、常に利用者の立場に立ったサービス事業の提供に努めた。

年度	件数(件)	実績(円)	介護報酬(円)	自己負担(円)
30年度	134	12,365,590	12,365,590	0
元年度	149	10,195,480	10,177,670	17,810
比較増減	15	△2,170,110	△2,187,920	17,810

ウ、移動支援事業(市受託事業)

屋外での移動が困難な障害者(児)の方に対し、外出のための支援を行うことにより、地域における自立した生活や社会参加を促すことに努めた。

年度	件数	時間数	実績(円)
30年度	40件	248.0時間	764,600
元年度	35件	164.0時間	491,750

エ、須崎市産前産後ヘルパー派遣事業(市受託事業)

妊娠中や出産後の体調変化により、家事や育児がしづらくなる方に、ヘルパーが訪問し家事や育児などの生活の手助けをする事業。須崎市在住の妊娠中(母子健康手帳取得後)から子どもが6か月になる前日までの期間、1回2時間500円の利用料で32回まで利用できる。

年度	件数	時間	委託料	自己負担額	計
30年度	8件	58.0時間	72,500円	14,500円	87,000円
元年度	24件	180.75時間	252,900円	45,000円	297,900円

オ、自費ヘルパー派遣事業(自主事業)

介護保険等の対象外の方で、身体介護や家事援助を訪問介護員一人当たり、30分900円(以降15分単位)と1回100円の交通費を自費で利用できる事業。

年度	件数	時間	自己負担額	交通費	計
30年度	47件	93.0時間	165,600円	6,300円	171,900円
元年度	64件	211.75時間	381,150円	21,600円	402,750円

カ、介護職員初任者研修

須崎市及び高幡域において、介護職員として介護業務に従事している又は従事することを希望する方を対象に初任者研修(旧ホームヘルパー2級研修)を実施。訪問介護員不足の解消を目指した。

研修期間	： 令和元年9月1日(日)から令和元年11月16日(土)の間40日間
研修時間	： 130時間
会場	： 須崎市泉町集会場
受講者	： 6名(市内2名)

3. 地域包括支援センター事業の運営(市受託事業)

高齢者の「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」「すまい」について包括的及び継続的な支援を行う「地域包括ケアシステム」を構築し、高齢者が住み慣れた地域で人と繋がり、地域と繋がり、尊厳をもって自分らしく生活できる、地域共生社会に向け、地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムの推進を担う、中核機関として、地域住民一人ひとりの個別的なサービス調整、地域におけるネットワークの構築・再生等、個人と地域が抱える幅広い生活課題、社会的孤立、社会参加の確保等、様々な高齢者の課題解決に応えることのできる、高齢者福祉の“ワンストップサービスの拠点”としての事業運営を図る。

① 包括的・継続的ケアマネジメント事業

内容	備考
居宅介護支援事業所連絡会	3回(5/16・9/19・1/16) 65名
居宅介護支援事業所事例検討会	4回(6/11・8/13・10/8・12/10) 49名
通所・訪問・居宅介護支援事業祖連絡会	4回(4/24・10/17・12/19・2/20) 150名

② 権利擁護事業

内容	備考
市民対象権利擁護講座	11月に生涯大学の一般公開講座として実施
事業所向け高齢者虐待防止研修	1回(7/23) 97名
事業所向け成年後見制度等権利擁護講座	7/18 地域ケア会議で実施

③在宅医療・介護連携推進事業

内容	備考
医療・介護関係者の研修	10/28 高幡5市町在宅医療・介護連携合同研修会

④認知症総合支援事業

内容	備考
認知症初期集中支援推進事業	対象者 3名 認知症初期集中支援チーム員会議 9回
認知症講座	新荘地区 3回(5/22・6/21・7/17) 52名
	須崎地区 3回(10/15・11/19・12/17) 28名
認知症サポーター養成講座	4回 84名
認知症ケア実務者研修	2回 (6/21・8/23) 112名

⑤地域ケア会議

内容	備考
個別ケア会議	11回 16ケース

⑥ボランティア団体等の育成支援

内容	備考
傾聴ボランティア養成講座	2回(2/14・2/28) 31名
傾聴ボランティア交流会	1回(6/25)

⑦介護予防ケアマネジメント業務

30年度		給付額(円)	件数	元年度		給付額(円)	件数
委託	新規	7,300	1	委託	新規	14,610	2
	継続	77,400	18		継続	81,810	19
	計	84,700	19		計	96,420	21
包括 直営	新規	1,102,300	151	包括 直営	新規	1,205,350	165
	継続	14,043,800	3,266		継続	15,175,120	3,525
	計	15,146,100	3,417		計	16,380,470	3,690
総計		15,230,800	3,436	総計		16,476,890	3,711

活動方針3 つながりの再構築による地域の中で誰も孤立しない見守り体制の実現

1. 地域福祉活動計画の策定と地域福祉計画への参画

①地域福祉活動計画(地域アクションプラン)の策定

平成31年3月に策定された第3期地域福祉計画を具体的な活動につなげていく地域福祉活動計画を地域の特色を生かしたものとするために、地域住民座談会を実施。計画の実施状況を研修するとともに、地域における福祉課題の把握と課題整理、課題の解決策を地域住民とともに確認した。

○座談会の開催(各地区2回)

地区	開催日	参加数	地区	開催日	参加数
上分	7月4日	23人	南	6月25日	20人
	2月6日	14人		2月10日	9人
須崎	7月24日	24人	吾桑	7月9日	16人
	2月13日	8人		2月7日	16人
新荘・安和	2月14日	7人	浦ノ内	6月3日	17人
多ノ郷	6月26日	16人		2月20日	20人
		2月13日	15人		

②地区社協活動の充実強化支援(市補助事業)

住民の日常的な生活圏である公民館単位において、民生委員児童委員、福祉委員、ボランティアや地域の各種団体・組織等との連携を図り、地域における福祉ニーズの把握、福祉課題を明確にし、その課題の適切な解決を図るとともに、日常生活支援、在宅福祉サービス相談、声かけ、見守り体制の確立に努めた。

○小地域活動支援助成金

助成額	助成地区社協
各50,000円	新莊・安和、上分、吾桑、浦ノ内、南、多ノ郷、須崎

③災害時要援護者台帳の活用と須崎市避難行動要援護者避難支援計画への参画

平成20年に整備された「災害時要援護者台帳」を活かし、須崎市避難行動要援護者避難支援計画の策定に参画。大規模災害等の発生時における、避難行動要援護者に対する安否確認や救助等の支援体制づくりとともに、日頃の小地域見守り活動での活用のため地域におけるネットワーク拡充に努めた。

2. 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

①共同募金・歳末たすけあい運動の推進

毎年10月1日から展開される、国民助け合い「赤い羽根」共同募金運動及び歳末たすけあい運動の高知県共同募金会須崎市支会事務局として積極的な募金活動を展開した。

前年度募金実績による配分については、配分委員会を開催し、適正、公平に配分した。

ア、令和元年度共同募金実績

	戸別募金	大口・法人募金	職域募金	その他	計
30年度	2,500,934円	1,221,944円	53,955円	6円	3,776,839円
元年度	2,224,554円	1,170,362円	56,988円	0円	3,451,904円

イ、歳末たすけあい運動(お年玉募金)

30年度	49,996円
元年度	48,991円

ウ、平成30年度募金実績による令和元年度事業配分

配分先	30年度	元年度
	配分額(円)	配分額(円)
民生委員児童委員協議会	582,000	582,000
社会福祉協議会	1,303,826	1,243,964
子ども会連合会	48,000	48,000
老人クラブ連合会	77,000	77,000
青少年育成市民会議	48,000	48,000
身体障害者連合会	67,000	67,000
手をつなぐ育成会	58,000	58,000
朗読研究会	38,000	38,000
精神衛生家族会	29,000	29,000
かわうそ手話サークル	38,000	38,000
ボランティア連絡協議会	155,000	155,000
社明運動	19,000	19,000
すきスポーツクラブ	58,000	58,000
招き猫の会	29,000	29,000
合計	2,549,826	2,489,964

3. 福祉関係諸団体との連絡調整

① 団体事務と連携

下記の団体の事務局を持ち、関係諸団体との連絡調整に努めた。

- ・須崎市民生委員児童委員協議会
- ・須崎市身体障害者連合会
- ・須崎市手をつなぐ育成会
- ・須崎市ボランティア連絡協議会
- ・須崎市老人クラブ連合会
- ・地区社会福祉協議会

(上分地区社協・須崎地区社協・多ノ郷地区社協・吾桑地区社協・浦ノ内地区社協)

② 社会福祉施設及び他関係諸団体との連携

須崎福祉会、須崎事業福祉協会等福祉施設との連携を密にし、施設サービスの推進に努めた。

活動方針4 住民の力をボランティア活動へつなぐ体制づくり

1. ボランティア育成事業の推進

ボランティア活動育成事業(市補助事業)

ボランティア連絡協議会等ボランティア団体に対しての情報提供や活動の支援、ボランティア活動に関する相談等とともに、各種研修会の案内、指導等ボランティアセンターとしての機能を活かし住民のボランティア活動の総合窓口として努めた。

2. 災害ボランティアセンター運営体制の強化

風水害、地震津波発生後の災害ボランティアセンターの実践的な活動連携体制の整備を図るために、須崎市災害ボランティアセンター設置マニュアルを見直すとともに、関係各機関と日頃からの情報共有及び迅速な連携体制の構築を目指して、災害ボランティアセンター開設準備会を開催した。

3. 福祉教育の充実

① 福祉活動推進校指定事業(市補助事業)

小中学校の児童生徒に福祉活動を通じて、思いやりの心、ともに感じる心、みんなで助け合う心を育むと共に児童生徒を通じて家庭及び地域社会に対しても啓発を図ることを目的として市内13校を指定し福祉教育の推進を図った。【各校50,000円助成】

② 福祉体験学習(高齢者疑似体験・車椅子体験など)

実施日	学校名・学年	人員(人)	
元年度	5月24日	南中学校 3年生	11
	6月20日	須崎総合高等学校2年生	11
	10月10日	須崎小学校 4年生	28
	10月24日	新荘小学校 3・4年生	18
	11月8日	吾桑小学校 4年生	9
	11月19日	吾桑小学校 4年生	9
	12月13日	浦ノ内中学校 1年生	14

③ 実習生の受入

学校名	実施日(参加人員)
高知開成専門学校 看護学科	5/24(3)・6/7(3)・6/13(3)・6/18(2) ・7/4(2)・7/9(3)
専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ	10/1～11/1(25日間) 1名

1. 事務局体制の充実

定期的な職員会を開催することによる、職員の意識と情報を共有する仕組みづくりや、地域生活や住民ニーズに立脚した事業がチームとして迅速に対応できる体制づくりに努めた。

また、組織統制機能強化のため社会保険労務士による各種規程の改正整備と職員労務管理の充実に努め、契約税理士による正確適正な会計処理を図った。

○職員会等の開催

会議名	内容等
社協内定例会	月1回の開催(常務、局長、各事業所長、係長)
生活支援・総合相談センター 「ほっと」	月2回の開催(指定相談事業所 相談員)
	月1回の開催(生活困窮者支援事業 相談員)
地域包括支援センター	月1回の開催

2. 役員会(理事・監事)、評議員会機能の充実

①理事会組織の充実

理事の経験や実績、専門性を発揮してもらえる理事会運営を基本に、法人運営の「執行機関」として理事の役割認識を深め、社協運営に参画する意識の向上を図った。

②評議員組織の充実

社協が地域の総意をもって地域福祉を推進するために、住民組織や地区社協、福祉に関する活動を行う団体等から適切な基準により選任された構成員による、評議員会の組織化を図った。法人にとって重要な事項を決定する「議決機関」としての性格を明確にし、組織の活性化を目指した。

③監査機能の充実

会計の執行状況だけでなく、事業の適正さや費用対効果などについても助言や指摘をしていただき、社協経営に活かせる監査機能づくりに努めた。

3. 社協会員制度の推進

社協の構成員である、住民組織・社会福祉施設及び事業者・ボランティア団体等と社協との組織関係を明確にするための「団体会員」、社協活動や地域福祉活動への関心や参加意識の熟成と一定的な民間財源確保として財政的に支援する「賛助(特別)会員」の増強を図るとともに、地域住民への社協事業の周知・理解を図り、住民主体の活動を目指した。

◆会員数と会費の実績

種別(会費額)	30年度		元年度	
	件数(件)	会費(円)	件数(件)	会費(円)
団体会員(5,000円)	30	150,000	30	150,000
特別会員(5,000円)	13	65,000	3	15,000
賛助会員(1,000円)	101	131,000	126	126,000
一般会員(500円)	0	0	17	8,500
計	174	346,000	176	299,500